

備 後

備後本社編集部

☎084(923)1718 FAX(931)8626

電子メール

bingo@chugoku-np.co.jp

府中支局

☎0847(45)2202 FAX(40)0080

尾道支局

☎0848(22)5258 FAX(20)0052

三原支局

☎0848(62)3676 FAX(60)0094

因島ステーション

☎0845(22)0766 FAX(26)0017

世羅支局

☎0847(22)0372 FAX(25)0017

ニュースや話題など身近な情報
をお寄せください

廃棄される予定の商品を並べて説明する太田室長(右端)



福山で環境大学開講 現状や課題学ぶ

環境問題を考え、知識を身に付ける福山市の「ふくやま環境大学」が12日、福山市役所で始まった。全3回の連続講座で、ことしは初めて食品ロスをテーマにした。スーパールの関係者たちから現状や課題を学ぶ。この日は26人が参加。24時間スーパールのハローズ(同市)の太田光一・商品管理室長(71)が、同社で廃棄になる商品を並べ、賞味期限前でも包装の破れや箱の変形で廃棄されている現状などを紹介した。まだ食べられる商品を福祉系の団体などに無償で提供する「フードバンク」の仕組みも説明。太田室長は

食品ロス問題より身近に

「福山では定期的に受け取る団体がまだ少ない。困っている人に行き渡り、もっと多くの団体と協力する必要がある」と話した。

講座は11月末まで。スーパーに実際に出向き、食品ロスを防ぐ買い物法などを学ぶ。母親と参加した同市山手町の小学4年門田華歩さん(10)は「授業で学び、問題を学習し、興味があった。身近なところから食品ロスを防ぐ方法を知りたい」と話していた。(川村正治)

なるほど海運尾道 船で周遊

児童向け学習会に16人



海運などの歴史を踏まえて描いたイラストを市職員(手前右)に見せる児童(同左)

海運で栄えた尾道の歴史を船での周遊などを通して知る小学生向けの学習会が12日、尾道市内であった。地元の歴史や文化財に興味を持ってもらおうと市が企画し、16人が参加した。

JR尾道駅前から瀬戸田港まで船に乗り、尾道水道から造船所が並ぶ島々などを見学。瀬戸田市民会館(瀬戸田町)では、市の西井亨主任学芸員が「島のおかげで風の影響を受けず、船の出入りがしやすい」と解説し、海運や造船で栄えた地理的な特性を学んだ。

海産物卸のカタオカ(東尾道)の社員は、北海道が産地のイカや昆布を扱う会社が多いのは、北前船が寄港した名残と説明。市のふ

ろ四方のウレタンなどに油彩で顔のような模様を描き、約2mの大木の根が突き出す。新市町出身の野田正明氏のブロンズなどもある。

小学生の子ども2人と訪れた同市川口町のパート佐藤雅

るさと納税の返礼品の小魚加工品に貼るシールを、歴史も踏まえてデザインした。だしの試飲もあった。因島南小6年の柏原愛唯さん(12)は「食べ物や街並みなど歴史が今につながっ